

市民活動交流カフェ 道の駅について語らい

市民活動センターあやせでは、登録団体のみなさんの活動に役立つ知識の向上やスキルアップを目的とした「市民活動交流カフェ」を不定期開催しています。2023年度第1回目の交流カフェを8月20日(日)に綾瀬市中央公民館 講堂で開催しました。

今回のテーマは「市民活動とあやせの観光『綾瀬の「道の駅」開業に向けて』」。市役所の商業観光課と道の駅整備推進室から、それぞれ現状の計画についての説明を聞いた後に、参加者によるワークショップを行いました。参加者からは、道の駅への期待の声が多く寄せられました。



今後のイベントスケジュール

最新の情報はHPをご参照ください

12月9日	団体交流会 (中央公民館講堂)
2024年 1月中旬頃	横断幕・式次第 講習会 (団体さま向け)
2月中旬頃	第二回 交流カフェ

スタッフからのごあいさつ

6月からスタッフからの一員となりました、田中です。出身は信州の上田ですが、振り返ると住居期間は上田18年、東京4年、福岡5年、横浜9年、綾瀬33年でここ綾瀬が人生の大半近くを占めます。いままでは地元に関わる事があまりなかったで、少しでも地域活動のお役にたてれば幸いです。

印刷機械等の操作にはまだまだ不安はありますが、いろいろ経験し成長していきたいと思っています。センターで見かけましたら気軽に声をおかけください。どうぞよろしくお願いいたします。(田中)



取材ごぼれ話

災害ボランティアネットワーク代表の伊藤さんは、会社経営者として活躍されています。3年間のコロナとの闘いのお話は、リアリティーがあり、想像を絶するものでした。このような中、「障害者、外国人労働者の雇用」や「ダイバーシティ経営」などに積極的に取り組んでいます。これらは、「助けあ

うこと」「つながること」をベースにした、「あやせ災害ボランティアネットワーク」の考え方そのものと理解しました。結成20年を機に、「全ての活動をコロナ禍前まで戻し、活発化させたい」との力強い声に心に刺さりました。そして、基本に立ち返るとは何か?について宿題をいただきました。(本間)

「地域や社会のために何かしたい…」
そんな思いを形にしたいのなら
是非相談してみてください!



登録団体数：158 団体 (2023年8月末現在)

市民活動センターあやせ

〒252-1107 綾瀬市深谷中 1-3-1 中央公民館内

TEL&FAX：0467-70-1232

Eメール：ayasenposc@gmail.com

開館時間：9:00～21:00

休館日：火曜日、毎月第3水曜日、年末年始

※ホームページで最新情報を発信しています。
「市民活動センターあやせ」で検索してください。



まらめま

災害は、いつ起こるか分からない!

— あやせ災害ボランティアネットワーク —



28年前、何の前触れもなく突如として起こった阪神・淡路大震災は、私たちに「助けあうこと」「つながること」の重要性を教えてくださいました。この教訓が、「あやせ災害ボランティアネットワーク」の【めざすもの】、『災害時の救援・復興活動が効果的に展開できる、体制づくり』となって、2003年11月に発足、15名のメンバーで、災害に強いまちづくりを目指して取り組んでいます。

これまでの主な活動は、①被災地でのボランティア活動②避難所の災害模擬訓練③防災の啓発活動など多岐にわたります。東日本大震災では、宮城県石巻市で、がれきの撤去作業などに仲間と汗を流し、「助けあうこと」「つながること」の大切さを痛感したそう。防災フェスタでは体育館で避難所宿泊体験も開きます。この狙いは、避難所生活の大変さを学び、自己防衛を促すこと。市内の小・中学校では、簡易トイレの作り方、防災クイズ、バケツリレーなど、体験型の防災講座を実施してきました。

11 住み続けられるまちづくりを



コロナで失った3年間をどのように挑戦するのか代表の伊藤さんに伺うと、「設立20年の節目に当たり、まずは、コロナ禍前の状態に戻し、基本に立ち返りたい」と力強く述べられました。関東大震災から100年、各ご家庭向けに「防災グッズの準備や避難行動の話し合いなど、命を守るための備え」が必要だと話されていました。

活動日時：不定期 18時30分～20時

活動場所：保健福祉プラザ

【連絡先：090-3209-6675(伊藤代表)】